

第3期特定健康診査等実施計画

第2期データヘルス計画

概要版

(平成30~35年度)

平成30年3月

栃木県 日光市

第2期データヘルス計画の概要

● データヘルス計画とは
健康や医療情報等のデータを分析・活用して、課題に対応した保健事業を推進するための計画

● 計画期間
平成30年度～平成35年度 6年間

計画の構成

第1章 計画の基本的事項	第6章 個人情報の保護
第2章 現状の整理	第7章 計画の公表及び周知
第3章 医療情報・健診等の分析	第8章 計画の評価及び見直し
第4章 目的・目標の設定及び評価指標	第9章 その他の事項
第5章 保健事業の実施内容	

現状の整理

項目	現 状
人口動態 死亡率 被保険者の状況	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者数が減少する中で高齢化が進んでいる 死亡の高い疾患は「悪性新生物」「心疾患」「脳血管疾患」であり、特に心疾患、脳血管疾患は県平均より上回っている
第1期データヘルス計画の評価 結果まとめ	<p>特定健診：新規受診者・不規則受診者に対しての継続受診につながる対策の検討</p> <p>特定保健指導：継続利用や途中脱落防止対策の検討</p> <p>重症化予防事業：HbA1cや血圧有所見者が増加している。医療機関など連携した取り組みを行い、重症化予防に向けた対策の強化</p>

医療情報・健診等からの分析

【データからの分析】

一人当たり医療費 医療費の割合 (国民健康保険)	<ul style="list-style-type: none"> 一人当たりの医療費は県内で上位である 高血圧性疾患、虚血性心疾患等の生活習慣病が医療費に占める割合が高い
高額医療等 (国民健康保険)	<ul style="list-style-type: none"> 慢性腎不全治療者は糖尿病・高血圧の基礎疾患有病割合が高い。 人工透析は50歳代が多い
後期高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 高血圧性疾患、虚血性心疾患等の生活習慣病が医療費に占める割合が高い 腎不全による人工透析が増えている
介護給付費の推移等	<ul style="list-style-type: none"> 認定者数の増加に伴い介護給付費も増えている 要介護状態となる原因疾患は脳梗塞と高血圧性疾患の比率が高い

【健診等からの分析】

項目	現 状
特定健診の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診の受診率は年々増加しているが、4割程度である ・ 受診が継続しない不規則受診者が2割程度いる ・ リスクが高いことが判明しても治療に繋がらない方がいる ・ 有所見率では、HbA1cは年々増加している ・ 通院中の方の受診率が上がらない
受診勧奨の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者の特性に応じた勧奨資材の活用等は効果がある ・ 地域の特性に応じた勧奨が必要である
若年層健診、 脳ドック等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若年層の男性受診者が少ない ・ 歯科健診の受診率は低いが、未処置歯や歯周病がある者が多い ・ 後期高齢者の健診は国保と同様の傾向にある

【特定保健指導からの分析】

項目	現 状
特定保健指導の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保健指導の該当率は男性が高い ・ 特定健診の新規受診者には特定保健指導の該当者が多い
利用率の推移等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 40代から50代前半の利用率が低い
特定保健指導の 効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保健指導の参加者は不参加者より改善率が高い ・ 内蔵脂肪症候群非該当者の割合は増加傾向にある

目標の設定



優先的課題

- I 循環器疾患（特に「高血圧性疾患」）の発症（受診）率が高い
- II 男性は、若い年齢から生活習慣病発症リスクが高く、健診の受診率が低い

目 的

特定健診の必要性を認識し健診受診が習慣化され、自分の健康について意識することで、健診結果に応じた行動がとることのできる被保険者の割合を増やす

目 標

1. 関係機関との連携及び特性を生かした効果的な勧奨資材の活用等により、通院中の方や新規の受診者を増やし継続受診につなげ、健診の受診率をさらに向上させる
2. 特定保健指導による効果を把握し、指導勧奨及び指導内容を工夫することで、経年対象者も含めた利用率を向上させる
3. 特に、若年を含む男性の受診率・利用率を向上させる
4. 重症化予防に向けた対策を強化し、関係機関との連携のもと体制づくりを推進する

【データヘルス計画の参考指標】

※特定健康診査等実施計画の目標値と実績値に差があることから、データヘルス計画では現状の分析や課題の整理を行った上で参考指標を設定しました。

区 分		特定健康診査等実施計画						
		第2期計画	第3期計画					
		H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
① 特定健診	第3期特定健診等実施計画の目標受診率 ※年度内受診者	60.0%	49.0%	51.0%	53.00%	55.0%	57.00%	60.0%
	データヘルス計画の参考指標 (H29見込み+毎年度1.5%)	H29見込 46.3%	47.8%	49.3%	50.8%	52.3%	53.8%	55.3%
② 特定保健指導	第3期特定健診等実施計画の目標実施率 ※初回面接者	60.0%	49.5%	51.5%	53.5%	55.5%	57.5%	60.0%
	データヘルス計画の参考指標 (H29見込み+毎年度1.0%)	H29見込 48.0%	49.0%	50.0%	51.0%	52.0%	53.0%	54.0%

【データヘルス計画の評価指標】

※参考指標の裏付けとして評価指標を設定しました。

項目		現状値	各年度	H35
特定健診	男性の受診率の増加	37.2%	1.5%増	47.7%
	新規受診者の増加	2.8%	0.2%増	4.4%
	継続受診者の増加	27.8%	1.5%増	39.8%
特定保健指導継続利用者の増加		63.2%	0.5%増	67.2%

第5章【保健事業の実施内容】

事業区分	事業名 (網掛けは重点事業)	根拠法令等 (主)国民健康保険法	対象年齢			
			19歳～	35歳～	40歳～	75歳～
成人健康診査等	特定健康診査事業	(国)高齢者の医療の確保に関する法律			国保	
	はつらつ健診 (後期高齢者健康診査)	(国)高齢者の医療の確保に関する法律				後期
	若年層健康診査事業	(市)日光市国民健康保険条例 (保健事業:その他)	国保			
			国保以外			
	人間ドック・脳ドック助成事業	(市)日光市国民健康保険及び後期高齢者 医療制度人間ドック等事業実施要綱		国保		後期
成人歯科検診事業	(市)日光市歯科検診事業実施要綱		国保		後期	
			国保以外			
特定保健指導等	特定保健指導事業	(国)高齢者の医療の確保に関する法律			国保	
	若年層保健指導事業	(市)日光市国民健康保険条例 (保健事業:その他)	国保			
化糖 予尿 防病 事重 業症	糖尿病重症化予防事業	(市)日光市国民健康保険条例 (保健事業:その他)	国保			
健康 づくり 事業 の 推 進	公民館共催事業	(市)日光市国民健康保険条例 (保健事業:その他)	国保以外			後期
	健康づくり意識啓発 (フェスティバル等)	〃	国保			後期
			国保以外			
訪問 指 導 事 業	未受診勧奨	(市)日光市国民健康保険条例 (保健事業:その他)			国保	
	特定保健指導 未利用者対策	〃	国保			
	医療費適正化 (重複・頻回受診、療養費等)	〃	国保			
	重症化ハイリスク 未受診者保健指導	〃	国保(若年層保健指導対象者)		国保	
	受診勧奨判定値以上者 への保健指導	〃			国保	
勸 奨	特定健診 未申込者勧奨	(市)日光市国民健康保険条例 (保健事業:その他)			国保	
	人間ドック(がん検診) 精検者受診確認	〃		国保		後期